

## 2026 ILCA 九州選手権

2026年7月4日(土)～5日(日) 於 長崎サンセットマリーナ

共同主催：一般社団法人 日本レーザークラス協会 長崎県セーリング連盟

協力：長崎サンセットマリーナ

競技種目：ILCA 7、ILCA 6、ILCA 4

## NOTICE OF RACE

[NP] の表記は、艇は、他艇の規則違反に対し抗議できないことを意味する。これは、規則 60.1 を変更している。

### 1. 規則

- 1.1. 本レガッタには、「2025-2028 セーリング競技規則」(以下、RRS) に定義された「規則」が適用される。
- 1.2. 規則 87 に基づき、レーザー・クラスルール 7.(a) を以下のように制限する。  
「レース中は登録された 1 名のみ乗艇できる。」
- 1.3. [DP][NP]セール番号が艇体の番号と違う場合や参加申し込み時と違う場合には、大会本部に備え付けられた「セール番号変更届」により申請すること。これはレーザー・クラスルール 4.(e).ii を変更している。
- 1.4. ペナルティー方式は RRS 付則 P 及び T を適用する。

### 2. 帆走指示書 (SAILING INSTRUCTIONS)

- 2.1. 帆走指示書 (SAILING INSTRUCTIONS) は後日 HP に掲載する。

### 3. コミュニケーション

- 3.1. 本大会の公式掲示及び諸連絡の掲示、プロテスト公式掲示及び 42 条掲示は、運営本部前に紙面による貼り出しを行う。

### 4. 参加資格

- 4.1. 本大会は、ILCA 4、ILCA6 及び ILCA7 クラスの艇が参加できる。
- 4.2. 本大会に参加する競技者は、以下の点をすべて満たしていること。
  - 4.2.1 日本レーザークラス協会の 2026 年度メンバーであること。
  - 4.2.2 レーザークラス協会会員証を受付時に提示すること。当日、会員証を提示できず会員であることが確認できない場合、参加できない場合がある。

## 5. 参加申込

- 5.1. 参加資格のある艇は、参加申込締め切り日までに大会ホームページ <http://sail.jpn.com> にてオンラインエントリーにて行う。
- 5.2. マリーナ収容能力の関係上、エントリー上限を全クラス合計 60 艇とする。60 艇を超える場合はキャンセル待ちとなる。
- 5.3. 参加申込締切日は、6 月 20 日（土）とする。
- 5.4. レイトエントリーは 6 月 26 日（金）までとする。（\*別途 2,000 円必要）
- 5.5. 参加申込締切日（6 月 26 日）後の不参加申出期間については 7 月 3 日までとする。

## 6. 参加料

- 6.1. 参加料：8,000 円（ハーバー使用料、水道・シャワー代を含む）は、受付時に現金にて支払うこと。ただし、大会前日以前にかかるマリーナ使用料は個別にて支払うこと。

## 7. 日程

### 7.1. 大会日程

	Date	Event	Time
Day1	7 月 4 日 (土)	大会受付 開会式・艇長会議 最初のクラスの第 1 レース予告信号 引き続きレースを行う。 (各クラス 2 レース予定)	08 : 45~10 : 00 11 : 00 13 : 00
Day2	7 月 5 日 (日)	ブリーフィング その日最初のクラスの予告信号 引き続きレースを行う。 表彰式・閉会式	08 : 45 09 : 55 16 : 00

- 7.2. 各クラス合計 5 レースの実施を予定する。
- 7.3. 7 月 5 日は、14 時 00 分より後に予告信号を発しない。
- 7.4. 天候その他の事情により、日程はレース委員会の裁量で変更することがある。
- 7.5. 本大会主催のレセプションは行わない。

## 8. 装備検査

- 8.1. 各艇は、受付以前にクラスルールに基づく計測のセルフチェックを行い、クラスルールに合致している必要がある。
- 8.2. 大会期間中、テクニカル委員会またはレース委員会は随時、艇または装備の検査をすることがある。

## 9. [DP] [NP] 安全

- 9.1. 艇は、直径 6mm 以上、長さ 5 m 以上のバウラインを搭載し、その一端はバウアイに結び付けられていなければならない。
- 9.2. マストトップに浮力体を取りつけても良い。形状は球形に限り、1 箇所のロープで取り付けなければならない。コンディションにより、付けたり外したりしても良い。
- 9.3. 各艇の乗員は、離岸から着岸まで、衣服または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、競技者は個人用浮揚用具を着用していなければならない。これは規則 40 を変更している。なお、個人用浮揚用具とは、体重を支えるに十分な浮力があり、体形に合致したサイズ表示と浮力が明示されたものでなければならない。膨張式浮揚用具、ドライ・スーツおよびウェットスーツはこれに含まれない。

## 10. 開催地

- 10.1. 長崎サンセットマリーナ（長崎県長崎市福田本町 1892）及びその沖の海面
- 10.2. 添付図 1 におおよそのレース・エリアの位置を示す。

## 11. コース

- 11.1. 帆走するコースは、ソーセージコースを予定している。

## 12. 得点

- 12.1. シリーズの成立には 1 レースを完了することが必要である。
- 12.2. (a) 完了したレースが 4 レース未満の場合、艇のシリーズの得点はレース得点の合計とする。
- 12.3. (b) 完了したレースが 4 レース以上の場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレースの得点の合計とする。

## 13. 支援者艇

- 13.1. 支援者艇は、6 月 26 日（金）までに問合せ先（森崎）まで事前申請をすること。
- 13.2. 全ての支援者艇は、大会受付時に「船舶検査証」及び「小型船舶操縦士免許証」を受付時に提示すること。
- 13.3. 会場への搬入手続き、支払いは各自で行い、船検証に記されている航行可能区域を確認のこと。
- 13.4. [DP] 全ての支援艇は、最初にスタートするクラスの準備信号から全ての艇がフィニッシュもしくはリタイアするまでの間、またはレース委員会が最初にスタートするクラスをゼネラルリコールとするか、全てのクラスを延期もしくは中止とする信号を発するまでの間、レース・エリアの外側にいなければならない。また、支援艇はレース委員会が支給するピンク色旗を掲揚しなければならない。
- 13.5. [DP][NP] 支援艇はレース委員会から救助および曳航の要請があった場合、これに応じること。

- 13.6. [DP][NP]支援艇の乗員は、水上にいる間は、衣服または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、常時、個人用浮揚用具を着用していなければならない。膨張式浮揚用具、ウェットスーツやドライ・スーツは個人用浮揚用具ではない。
- 13.7. 全ての支援艇は船舶保険に加入のこと。また乗船者は有効な傷害保険と賠償保険に加入のこと。
- 13.8. キル・コードが装備されている支援者船のドライバーは、エンジンが動作している時はキル・コードを装着していなければならない。

## 14. リスク・ステートメント

- 14.1. このレガッタの競技者は、自分自身の責任で参加する。RRS3「レースをすることの決定」を参照。
- 大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。
- なお、主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

## 15. 保険

- 15.1. 競技者は、有効な傷害保険と賠償保険に加入していなければならない。

## 16. 大会不成立・中止

- 16.1. 強風、無風、降雪、地震等自然災害、事件、事故等により大会不成立の場合には、参加料の返金はしない。

## 17. 賞

- 17.1. 各クラスの1位～3位には賞が授与される。但し、当該クラスのエントリー数が6艇以下の場合、1位のみとする。

## 18. クオリファイ

- 18.1. 日本レーザークラス協会「[ILCA \(Laser\) All Japan Championships 参加資格 \(クオリファイ\) について](#)」による。

## 19. 肖像権

- 19.1. 競技者は、本大会に参加することにより、大会期間中の競技者または競技者の装備に関する動画、写真等の映像について、その競技者に予告なく主催団体の判断で使用する権利を主催団体に与えるものとする。

